



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2024年3月6日 No.745

新賃金・夏季手当の同時議論 全ての社員が求めているのは議論時期ではない！ 納得できる支給額だ！

＜経営側の姿勢＞

- ・組合側の主張を「全ての社員の主張」と受け止めず「年収ベースでの見通し」や「同時議論は合理的」を繰り返し、議論時期にこだわる姿勢を崩さず

＜東日本ユニオンの主張＞

- ①労働組合や社員が求めているのは、賃金や期末手当の議論時期ではなく、納得のいく支給額である。

＜経営側・口頭回答＞

- ・同時に議論することで、社員は年収ベースでの見通しが一定程度立つ。計画的な生活設計を立てられるようになることから合理的であると考えている。
- ・支給額の納得感是人それぞれである。個別の「納得感のある、なし」を会社として申し上げることはしない。

＜東日本ユニオンの主張＞

- ②近年の賃金改定や夏季手当の支給実績など踏まえると賃金支給の抑え込み手法となることが予想される。

＜経営側・口頭回答＞

- ・賃金を抑え込むことではない。
- ・約束した支給水準はない。早い段階で回答を示すことで、社員は生活設計が立てられ、働きがい向上につながると考えている。

＜経営側の主張＞

- ・今後については「新賃金と夏季手当の同時検討」「新賃金と夏季手当及び年末手当の同時検討」「それぞれ別々に検討」など、その都度、会社として判断していく。

＜東日本ユニオンの主張＞

- ・「その都度判断していく」とした経営側の主張は、私たちが回答している「議論時期は、これまでと同様に、その都度、判断していくことに変わりはない」と同じではないか。